

吟詠教本 和歌篇(上巻) CD及びカセットテープ【第一集】/【第二集】

No.	題	初句	作者	頁
1	「古事記」より	八雲立つ	須佐之男命	第1集
2	難波津に	難波津に	王仁	第1集
3	貢物許されて國富めるをご覧じて	たかき屋に	仁徳天皇	第1集
4	聖徳太子、…	級照るや	聖徳太子	第1集
5	題しらず	秋の田の	天智天皇	第1集
6	有間皇子,自ら傷みて松が枝を結ぶ歌	家にあれば	聖徳太子	第1集
7	額田王、近江天皇を…	君待つと	額田王	第1集
8	柿本朝臣人麻呂の羈旅の歌	天離る	柿本人麻呂	第1集
9	軽皇子、安騎の野に宿る時に、…	東の	柿本人麻呂	第1集
10	柿本朝臣人麻呂の歌一首	近江の海	柿本人麻呂	第1集
11	慶雲三年丙午、…	葦辺行く	志貴皇子	第1集
12	大宰帥大伴卿、酒を讃むる歌	駿なき	大伴旅人	第1集
13	この世にし	この世にし	大伴旅人	第1集
14	子等を思ふ歌一首	瓜食めば	山上憶良	第1集
15	沈痾の時の歌一首	士やも	山上憶良	第1集
16	山部宿禰赤人、…	天地の	山部赤人	第1集
17	神亀元年甲子の冬十月五日、…	若の浦に	山部赤人	第1集
18	題しらず	ももしきの	作者未詳	第1集
19	二十三日に興に依りて作る歌	春に野に	大伴家持	第1集
20	三年春正月一日に、	新しき	大伴家持	第1集
21	防人の歌	父母が	文部稻麻呂	第1集
22	武蔵の国の歌	多摩川に	作者未詳	第1集
23	唐土にて月を見てよみける	天の原	安倍仲麿	第1集
24	題しらず	ほのぼのと	詠み人知らず	第1集
25	題しらず	世の中は	詠み人知らず	第1集
26	比叡山中堂建立の時	阿耨多羅	伝教大師	第1集
27	題しらず	花の色は	小野小町	第1集
28	駿河國うつの山に	するがなる	在原業平	第1集
29	月やあらぬ	月やあらぬ	在原業平	第1集
30	五節の舞姫を見て	天つ風	良岑宗貞	第1集
31	流され侍りける時	東風吹かば	菅原道真	第1集
32	海	海ならず	菅原道真	第1集
33	舊年に春たちける	年のうちに	在原元方	第1集
34	桜の花の散るをよめる	ひさかたの	紀 友則	第1集
35	白菊の花をよめる	心あてに	凡河内躬恒	第1集
36	平定文が家歌合に詠み侍りける	春立つと	壬生忠岑	第1集
37	春立ちける日詠める	袖ひちて	紀 貫之	第1集
38	七重八重	七重八重	兼明親王	第1集
39	心かはり侍りける女に、…	契りきな	清原元輔	第1集
40	天曆の御時の歌合	忍ぶれど	平 兼盛	第1集

吟詠教本 和歌篇(上巻) CD及びカセットテープ【第一集】/【第二集】

No.	題	初句	作者	頁
1	屏風に	わが宿の	源 順	第2集
2	入道摂政まかりたる	嘆きつつ	右大将道綱母	第2集
3	題しらず	なげやなげ	曾禰好忠	第2集
4	題しらず	山城の	曾禰好忠	第2集
5	逢坂の関に庵室を	これやこの	蝉 丸	第2集
6	一条院の御時、	いにしへの	伊勢大輔	第2集
7	題しらず	寂しさに	和泉式部	第2集
8	性空上人のもとに	暗きより	和泉式部	第2集
9	大江山	大江山	小式部内侍	第2集
10	早くより童友だちに	めぐりあひて	紫 式部	第2集
11	題しらず	遙かなる	大式三位	第2集
12	みちのくにに	都をば	能因法師	第2集
13	師賢朝臣の梅津の	夕されば	源 経信	第2集
14	堀河院の御時、	照射する	大江匡房	第2集
15	障子の絵に、	ふるさとは	源 俊頼	第2集
16	夏の月を詠める	にはのおもは	源 頼政	第2集
17	陸奥の國に平泉に	ききもせず	西行法師	第2集
18	なでしこ	かきわけて	西行法師	第2集
19	三夕の歌「こころなき」	心なき	西行法師	第2集
20	題しらず	津の国の	西行法師	第2集
21	題しらず	さびしさに	西行法師	第2集
22	静 若宮八幡へ	しづやしず	静 御前	第2集
23	百首歌奉りける時、…	夕されば	藤原俊成	第2集
24	守覚法親王家に…	たちかへり	藤原俊成	第2集
25	三夕の歌「さびしさは」	寂しさは	寂蓮法師	第2集
26	五十首歌奉りける時	村雨の	寂蓮法師	第2集
27	左大臣家十題百首「十樂の心」	むらさきの	寂蓮法師	第2集
28	百首歌奉りける時、	山深み	式子内親王	第2集
29	百首歌奉りける時、	桐の葉も	式子内親王	第2集
30	立春の心を	み吉野は	藤原良経	第2集
31	家に花五十首歌よませ	昔たれ	藤原良経	第2集
32	鴨社歌合とて	石川や	鴨 長明	第2集
33	はこねにまうづとて	箱根路を	源 実朝	第2集
34	五十首歌奉りける時、	大江山	慈 円	第2集
35	春のころ大乘院より	みせばやな	慈 円	第2集
36	題しらず	おほけなく	慈 円	第2集
37	寛喜元年女御入内屏風	風そよぐ	藤原家隆	第2集
38	をのこども詩を作りて	見わたせば	後鳥羽院	第2集
39	三夕の歌「見わたせば」	見わたせば	藤原定家	第2集
40	守覚法親王の五十首歌に	しもまよふ	藤原定家	第2集
41	百首歌奉りける時	駒とめて	藤原定家	第2集